

特定非営利活動法人
福山市身体障害者団体連合会

第28号

福山市身連通信

2017 (H. 29) 年10月

発行者 NPO法人 福山市身体障害者団体連合会
編集者 福山市身連 広報部市身連通信編集委員会
連絡先 電話 FAX 084-961-4733

目次

福山市障がい者相談員協議会 平成二十九年研修会開催	1
広島県身体障害者福祉大会 第五十六回県大会参加	2
福山市議会を手話通訳	3
ご寄付に御礼	
ヘルプマーク他県なみに	
秋の行事企画	

平成二十九年第一回

福山市障がい者相談員協議会研修会

日時 平成二十九年八月十八日
会場 福山市すこやかセンター

今年もお盆明けの八月十八日、福山市障がい者相談員協議会の研修会をすこやかセンターのマンパワ―研修室を会場に開催しました。毎年福山市身連の行事が計画されていよいよ八月にと企画していますが、お盆とは切り離して日程を取ったほうが、参加者の都合もいかと会場を予約に行きましたが、思っていた日には会場に空きがなく昨年と同様お盆明けの日程しか取れませんでした。

東北大震災以来、日本中の各地に台風や地震や線状降雨帯による大雨で災害が発生し、毎年それによる犠牲者が多数出ている事を踏まえ、障害者はそうゆう時最も犠牲者が出る恐れのある災害弱者と言われていますので、その対策等について学習する事にしました。

この研修の講師を福山市役所の福祉総務課地域福祉担当の梶山泰課長にお願いして、市が策定している災害時の基本的な対策や市内各地の現状等について講義を聞きました。

先ず障害者に限らない市内で災害の危険が予測される時の避難場所や、地震とか台風とか災害の種類による避難の仕方の違い等の説明があつて、最近気象による警報

その会場が取れた日は福山で手話の会とろうあ協会関係者の大会が予定されている日とブッキングしていろいろあ協会の相談員の人には全く参加してもらえない事になってしまいました。

今回の研修のテーマとしては、



等の改正で、すばやい行動のできない人に対する「避難準備情報」が出されるようになったこととか福山市で避難行動要支援者のリストを作り、学区ごとの支援を円滑に実施できるようにしていて、この対象者をきめているが、この九月から改めて調査もするので、この条件―一人暮らし高齢者・要介護3以上・身障1、2級等―に該当する人と、それに準ずる人は民

生委員に自ら連絡を取って避難の時どんな介助が必要か話し合いをしておく事を提案されました。このような制度もあります。日頃のおつきあいで、近隣の人に自分の事情を理解してもらえらるようしておく事がいざという時役立つのではとの話でした。

その他では北朝鮮によるミサイルの発射が頻繁にあり、それが落下しないか警報がある件の話もありましたが、現実地域がわからない時は避難の仕様がないうことです。

県や市の対策の説明がわかり、質問というより講師は障がい者に関して、むしろどのような実情にあるのか知りたい思いがあり、それを対策に生かしていきたいと受講者に意見を求められ、二、三の意見や対策の空白部分についての質問があつて研修を終わりました。

相談協としては、身体の部は今年も福祉まつりに相談コーナーを設ける事、連合会では県大会への参加状況の説明を根本事務局長がして、甲斐副会長の閉会の挨拶で研修会を終了しました。

第五十六回（平成二十九年）

広島県身体障害者福祉大会

日時 平成二十九年九月七日
会場 呉市 くれ絆ホール

平成二十九年度の広島県福祉大会は呉市の絆ホールで開催予定で

福山市身連は毎年独自の団体で参加していますが、近年車イスリフトの付いたバスが近隣になくなり、またふれあい号も古くなって利用

できず、連合会が一団で参加できないことが何年か続いていました

が、今年根本事務局長が情報を得てトモテツにリフト付きバスがあっ

て利用できるかもと交渉の結果、試験的に利用できることになり参加者を募集しました。

その結果バスの定員二十八名を超える希望者があり、バスに加え

会員の車も一、二台必要かとなりましたが、辞退者や調整でバス一

台での全員参加となりました。

車イスが4台乗せられるこのバスで、九月七日早朝新市を始発に

北部から駅裏へ、人権センターで

全員を乗せて呉へ出発しました。

前週あたりから予報が出ていた

通り秋雨前線の南下の最終日で朝



方から雨が降ったりやんだり夕方まで一日続き、あいにくの天候の中でのバス旅行となりました。

呉大会は広島県身連の会長が交代して最初の県大会ですが、前回

呉で大会が行なわれた時と違い昨年呉市役所に隣接して開館したばかりの「絆ホール」での開催で一

階を平土間仕様にすれば七五〇人収容と言われる新しい会場に六〇

〇人が参加しての大会でした。

大会はいつも通り第一部が式典でそれぞれの挨拶のあと表彰になり

福山からも県知事表彰を含め八名が表彰され、昨年度まで会長であ

った鎌刈氏も永年の会長としての労をねぎらって感謝状を受けられました。

今大会では会費の中に昼食も含まれていて、大会後参加者はほとんど

が近くの体育館に移動しての食事を、また車イスとか移動が

厳しい人たちはすぐ隣の市役所内の昼食となりました。

福山の団体は食事が済むと観光

予定の鉄のくじら館へとバスで出発し、陸上に据えられた潜水艦の中に入り見学しました。

くじら館のあとは千福酒造に行き、試飲と見学をして県大会参加のバス旅行を終えました。今後もこのバスが利用できれば活動の手助けになりそうです。

関係身連市一 関係身連市一 関係身連市一

表彰受賞者の皆様おめでとうございます

県知事表彰 厚生援護功労賞

門田 潤美

自立厚生者

高橋 満夫

県身連会長表彰

団体功労賞

伊藤 達雄

大村 徳子

自立厚生者

佐藤 瑞恵

濱田 秀則

古岡 好人

真鍋 珠洲可

感謝状

鎌刈 拓也

(敬称略します)

市議会を手話通訳

福山市議会 県内初

広島県議会や広島市議会等では傍聴をしようとするとき音声聞き取れない人の場合事前に予約すれば手話通訳士を配置してもらえますが、九月からの福山市議会ではこれからの本会議で議場の傍聴席に手話通訳士を配置する事を始めました。

このように予約を受けてでなく本会議全てを傍聴席で同時通訳し、それを庁舎内のモニターやインターネットの生中継に流すことにしており、これは県内初の試みです。全国各地の県や市がこのことろ手話を言語として認める「手話言語条例」を制定している状況もあり、福山市も今年度中にこの制定を目指しており、県内初のこの制定で、ろうあ関係者にも情報が平等に届く事を前進させていく事は目指したいと願っていることと思われまます。

ご寄付に御礼

九月、市役所から連絡があり、連合会に寄付の申し出がありますとのことで、理事長が出向き戴いてきました。草戸町にお住まいの湯原正朋様から亡くなられた奥様が、ペットボトルに硬貨を貯められたもの二本ご寄付いただきました。ご厚志ありがたくこれからの活動に利用させていただきます。ありがとうございます。

広島県でも無料で

す。この後県内市・町でも配布できるようになると言われています。

行事企画

市身連は今年も義倉から活動費を助成してもらっていますので、多くの会員が参加してもらえる行事を検討中です。

行事案としては、カラオケ、ビデオでの人権学習、自作の作品展、写真教室、ビンゴゲーム等がありその他に何があるか模索中です。

これから年内には福祉まつり、中・四国大会が予定されており、その合間に予定を組んでご案内する事になると思えます。

NPO法人 福山市身体障害者団体連合会

<http://fukuyamasisinren.sub.jp/>

インターネットの検索欄で、上記のアドレスをいれて検索するか、福山市身連の文字を入力して検索して見て下さい。ホームページをご覧いただけます。